

# ◎ バイオディーゼル燃料取組実態等調査の結果概要 (平成27度実績)

## \* 調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

## \* 調査対象期間

- ・平成27年4月1日～平成28年3月31日における実績  
(調査時期:平成28年8月～平成29年3月)

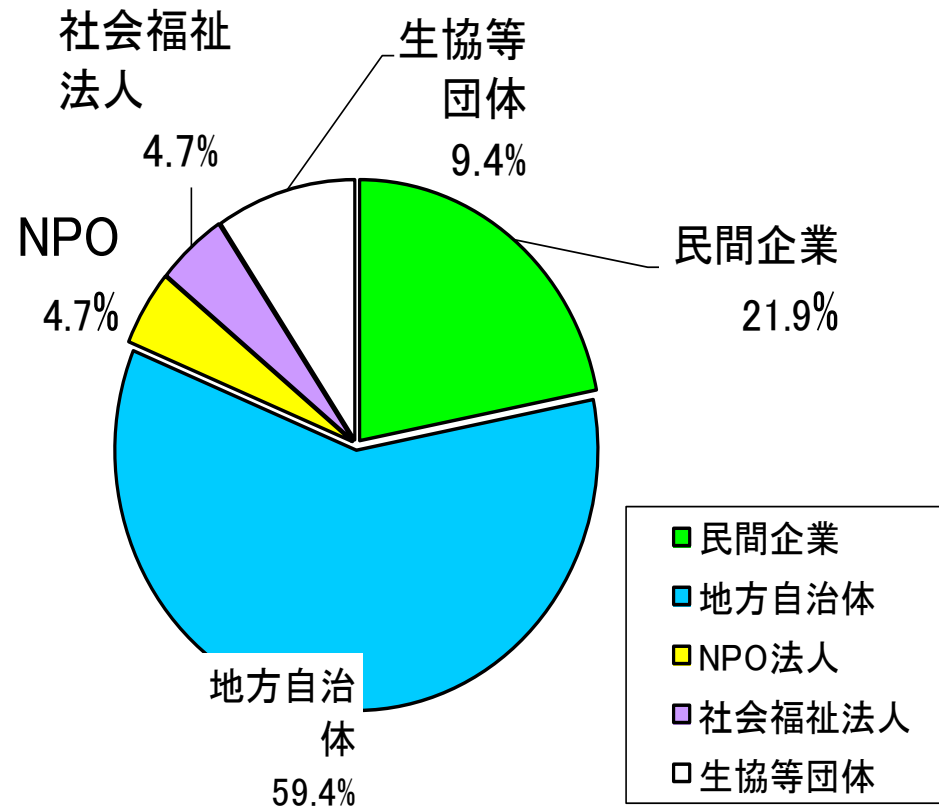
## \* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

# バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

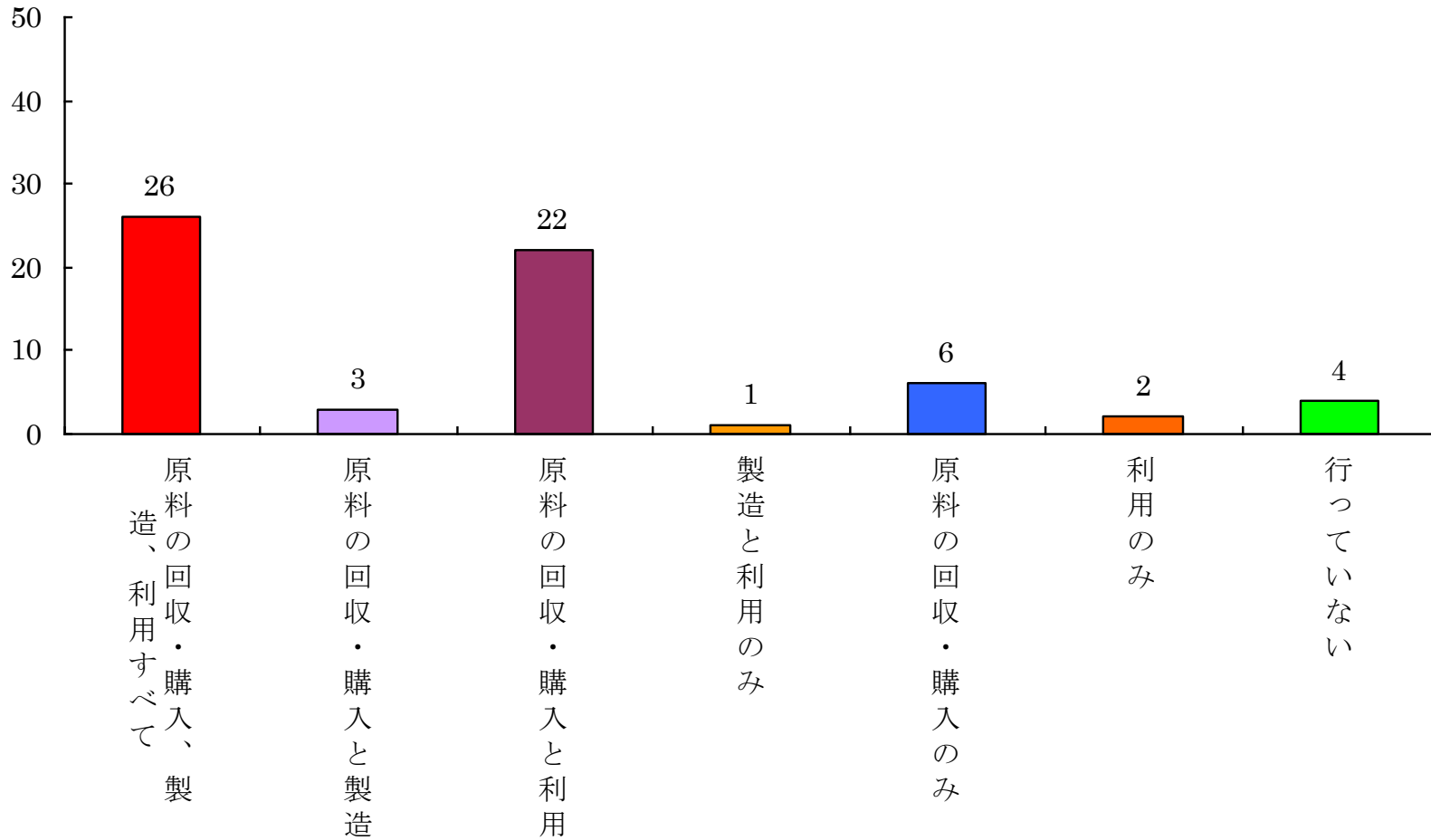
6 4 事業者から回答があった。

組織	事業者数	割合(%)
①NPO法人	3	4.7
②民間企業	14	21.9
③地方自治体	38	59.4
④社会福祉法人	3	4.7
⑤生協等団体	6	9.4
合計	64	100.0



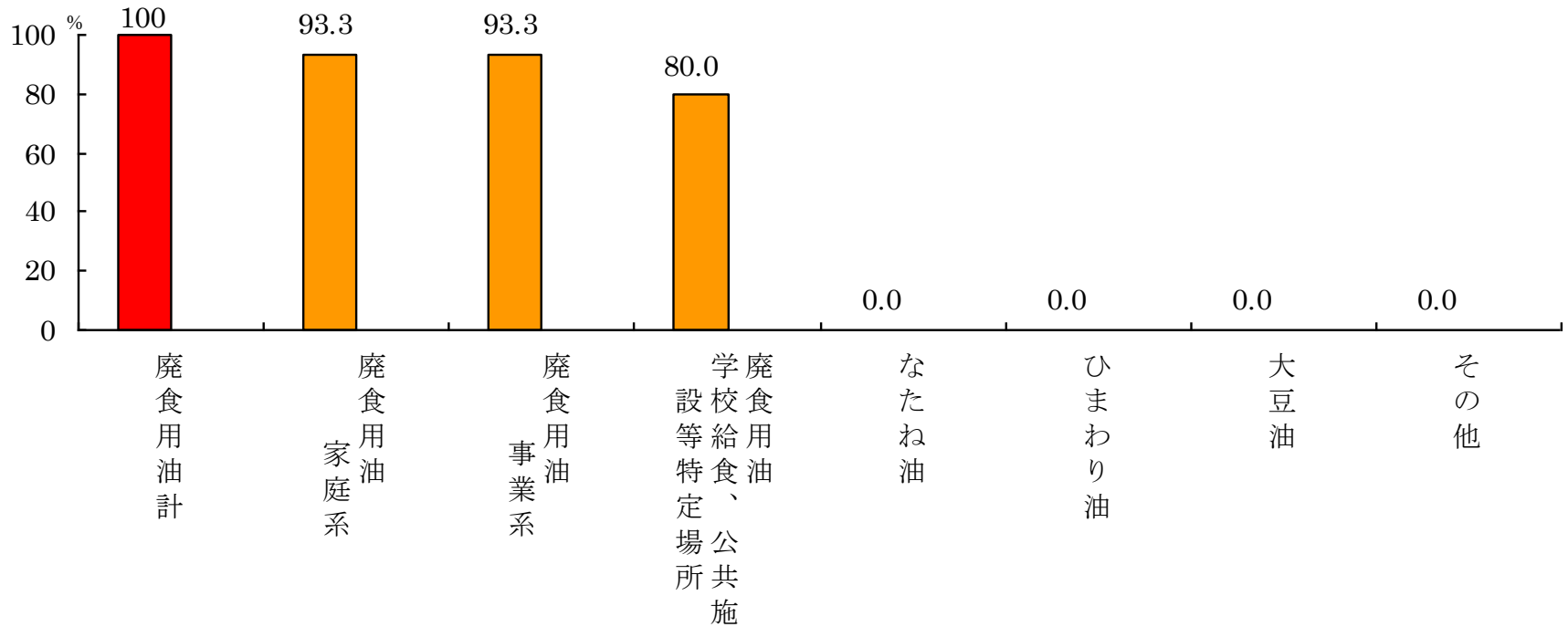
# 取組形態

(事業者数)



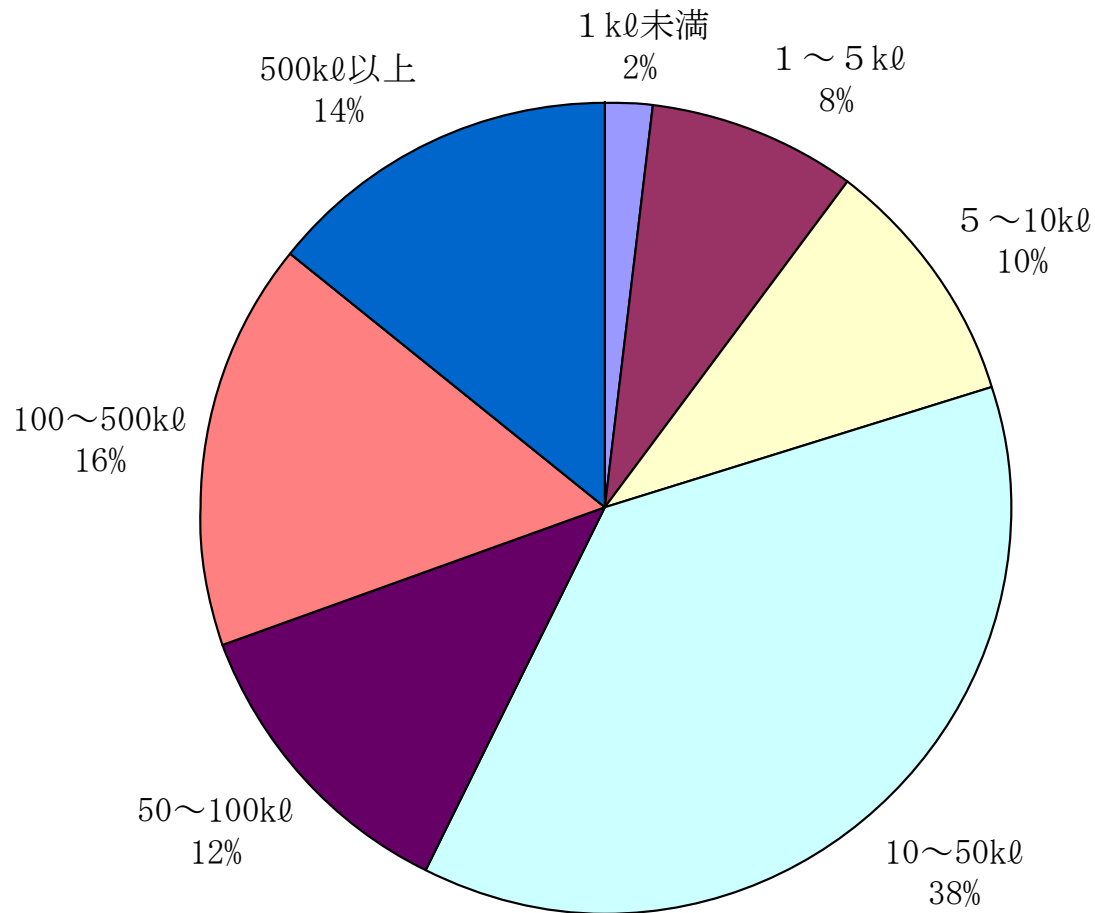
## バイオディーゼル燃料原料の種類

燃料製造者(30事業者)の全てが「廃食用油」を利用している。  
前年度から原料調達先に大きな変動はみられないが、家庭系の利用として、前年まで利用していなかった事業者が着手したことで利用が上昇した。



# バイオディーゼル燃料製造量の規模(年間)

1事業者あたりの製造量の規模としては、年間10~50klが多い。



## 製造量と製造コスト

①年間製造量：15,391kℓ(該当事業者43/平均314kℓ)

・製造量は、電話聞き取りで調査回答も加えた。

②製造率：88.6%(回答事業者29の相加平均)

・投入原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

③製造コスト：121.8円/ℓ(回答事業者20の相加平均)

・回答のうち人件費が高額の事象があり、協議会として推定(概算水準)すると約97円/ℓが計算される。

\*なお、事業者の燃料製造稼働日数は、平143日であった。

## 車両等の種類別利用割合

◎ 47事業者から利用していると回答があった。（前年は60事業者）

・依然、トラックやごみ収集車利用が多いが、車両以外の「発電機」や「建設現場」を含む「重機」（含：フォークリフト）の利用が定着してきた。

また、軽油混合（B5、B20）利用の回答用途には「\*」印を入れたが、台数は正確に把握できる回答が得られず、今回の台数はB100利用のみを集計している。

なお、各台数は全体的に回答者数の減少が招いた結果であると判断できる。

用途	ごみ収集車	バス	スクールバス	公用車	トラック	乗用車	農林機械等	建設現場	発電機	熱源	その他(特殊自動車等)
台数	236 *	24 *	0 *	25 *	253 *	9 *	18 *	27 *	12	22 *	58 *
事業者数	13	10	0	9	22	5	7	6	7	6	20
数量未回答事業者	3	2	2	2	4	2	1	3	2	2	4

# 協議会活動に対する要望(全回答事業者64/59者から複数回答)

- ・車両以外の用途拡大の指針
- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供
- ・軽油引取税の見直し

などを挙げる事業者が多く、特に「車両以外の用途拡大の指針」の声が多くなる傾向が見える。

